

無事、第二号発刊

こんにちは、編集長の山本です。創刊号は、楽しんでいただけましたか？心配されていた(笑)第二号も、とうやら無事発刊する事ができました。今年も残すところあと僅か、年末でお忙しいとは思いますが、ほんの少しの時間だけ、お付き合いくたさい。

ダンスG祭の始まり

そもそも、ダンスG祭とはどうして出来たの？素朴な質問です。実は、実行委員長であった私の思い付きから始まりました。商店街で何かお客様のために出来ないか？そう思っている時に、地域の方たちが『グリーンロードフェスティバル』というボランティア・イベントを開催。私も参加してみて、「これだっ！」と思いました。商店街でもイベントをやるうー次に「さて、何やる？」そんな時に、札幌で『よさこいソーラン祭』の情報が！思い立って吉日、アポロフォトの高橋夫妻と三人で、いざ札幌へ！そこで、誰でも参加できるという『輪踊りソーラン』に遭遇！踊りに参加して、実にこれが楽しい、大感激！その時、はたまた「これだ！」この感激を、自分の街でもやりたい！とまあ、これがダンスG祭の第一歩という所でしょうか。



スタッフの野口さん松本さんと実行委員長(右から)

本場札幌のよさこいソーラン 平成13年6月9日撮影

「これがが大変！本当の裏話！？」

さあ、意気揚々と札幌から帰ってきて、「よさこいソーランやるぞー！あれ？誰ものって来ない？それどころか「馬鹿言ってるんじゃないよ！出来る訳ないじゃん！」の大嵐。そりゃそうだ、未だかつて商店街でイベントらしい事なんか何十年もやってない。そこで先ほどの地域の方々にお願いをした。二つ返事で「よし、分かった。手伝おう！」実にありがたいお言葉でした。(何とかスタートが切れました。所がまた問題！どうやるの？何やるの？方法は？お金は？何せ初めての事尽くし、おまけにこの委員長、やる気はあるがずぶの素人(みんなに迷惑掛けっぱなし)。まずは内容、ステージ・よさこい踊り・模擬店の三部門。踊りの振りだっって判らない。先生呼んで真夏の体育館で猛練習。参加してくれた人、お疲れ様でした。地域ボランティアの方の暖かいご協力を得て、会議を重ねる事二十三回。最初は無理だと言っていた商店会、だんだんやる気が起きてきた。そんなこんなで商店街を舞台に地域と商店街が共に創るイベント『元気な街、再生計画ーダンスG祭2001』が出来あがり。あとは、創刊号でも書いた通り。今回学んだ事、「金が無くても、やる気さえあれば何とかなる！？」しかし、みんなの協力がなければ出来ないのも事実。皆さん本当にありがとうございます。迷惑をかけた、が正解？『ダンスG祭』がこの街の名物イベントになるように続けて行けたらと願います。

お正月のお餅はおいしいお餅を

武蔵新城駅前で、「体にやさしい、安心して食べられるおいしいお菓子」造りがモットーの創業46年、和菓子の店『大平屋遠藤商店』。極力天然素材にこだわりお菓子作りに励んでいます。「お正月のお餅はおいしいお餅」を求めて、遠方より来店されるとのこと。また、秋冬限定「芋ようかん」、変り種の「カフェオレ大福」も大好評！新潟より直送のお米を使ったお寿司も美味！大平屋もうひとつの名物が、若女将『遠藤広美』さん。大福のようにポチャポチャア～とした「肝っ玉かあさん」！お菓子といっしょに味わってみたい『一品？』です(笑)！場所は新城アーケード入口すぐ。

大平屋遠藤商店 中原区新城1-2-20 TEL044-766-5494

取材担当

山本守弘

このコーナーは編集長やスタッフが知ってる、ちょっといいお店や人を紹介するスペースです。あくまでも主観ですから責任は持てません(笑)。あしからずお許し願います。

**わたしの知ってる
ちょっといい店!!**

和菓子の店
大平屋遠藤商店

